

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【公開番号】特開2010-172416(P2010-172416A)

【公開日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-032

【出願番号】特願2009-16769(P2009-16769)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 3 0 Z

A 6 1 B 6/00 3 6 0 B

A 6 1 B 6/00 3 0 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

X線を照射するX線管と、
被検体を透過した前記X線を検出して透過X線信号を出力するX線検出器と、
前記X線の照射角度を変更するために前記X線管を回転移動させるX線管駆動手段と、
前記X線管駆動手段を駆動制御する制御手段と、
前記透過X線信号に基づいて前記被検体の撮影画像を生成する画像生成手段と、
前記X線管の回転角度に対応させた倍率により、前記回転角度において撮影された撮影
画像を縮小又は拡大する画像補正手段と、
を備えることを特徴とするX線撮影装置。

【請求項2】

撮影領域が一部重複した連続する複数の撮影領域を設定する撮影領域設定手段と、
前記複数の撮影領域から得られた複数の撮影画像を、前記重複した領域においてつなぎ
合わせて長尺撮影画像を生成する画像合成手段と、を更に備え、
前記X線管駆動手段は、前記重複した領域において前記X線が前記X線検出器のX線入
射面に対し、略同一の照射角度で照射されるように前記X線管を回転移動し、

前記画像補正手段は、前記複数の撮影画像のそれぞれを、各撮影画像を撮影したときの
前記X線管の回転角度に応じた倍率により縮小又は拡大し、
前記画像合成手段は、前記縮小又は拡大後の撮影画像をつなぎ合わせる、

ことを特徴とする請求項1に記載のX線撮影装置。

【請求項3】

前記X線撮影装置を用いてファントームを撮影したファントーム投影像の寸法と、前記
ファントームの実寸法と、に基づいて、前記倍率を算出する倍率算出手段を更に備える、
ことを特徴とする請求項1又は2に記載のX線撮影装置。

【請求項4】

前記X線管の回転角度に対応付けた倍率を保存する倍率記憶手段と、
ユーザによる前記倍率の設定を受け付ける倍率受付手段と、
前記画像補正手段が、前記倍率受付手段が受け付けた設定倍率を用いて前記撮影画像を

縮小又は拡大すると、前記倍率記憶手段に保存された倍率を前記設定倍率に更新する倍率更新手段と、を更に備える、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか一つに記載の X 線撮影装置。

【請求項 5】

前記 X 線管の回転角度に対応させた倍率は、前記 X 線管の回転角度に応じて変化する前記 X 線管の X 線焦点から前記被検体までの距離を用いて算出する、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか一つに記載の X 線撮影装置。